



ひづけ	
がつ	なまえ
にち	

もんだい

つぎの 文^{ぶん}しようを、まず こえに 出^だして よみましよう。
その あと、もんだいに こたえましよう。

むかし、むかし、ある いえの おくらの 中^{なか}に、
 おこめを もって、むぎを もって、あわを もって、
 まめを もって、たいそう ゆたかに くらして いる
 お金^{かね}もちの ねずみが すんで おりました。
 子ども^こが ないの で かみさまに おねがいしますと、
 やつと 女^{おんな}の子が 生^うまれました。

(楠山正雄作「ねずみの嫁入り」より)

「あわ」は、おこめや
むぎと おなじ
たべものです。

1 「ねずみ」は どこで くらして いますか。

ねずみは、()
おくら () の 中 で くらして います。

2 「ねずみ」は なにを もって いるの で、お金もちなのですか。
つぎに かきましよう。

() おこめ ()
 () あわ ()
 () むぎ ()
 () まめ ()

3 「ねずみ」に だれが 生^うまれましたか。

ねずみに ()
女^{おんな}の子 () が 生^うまれました。